

発注企業動向調査結果

-2013.1-

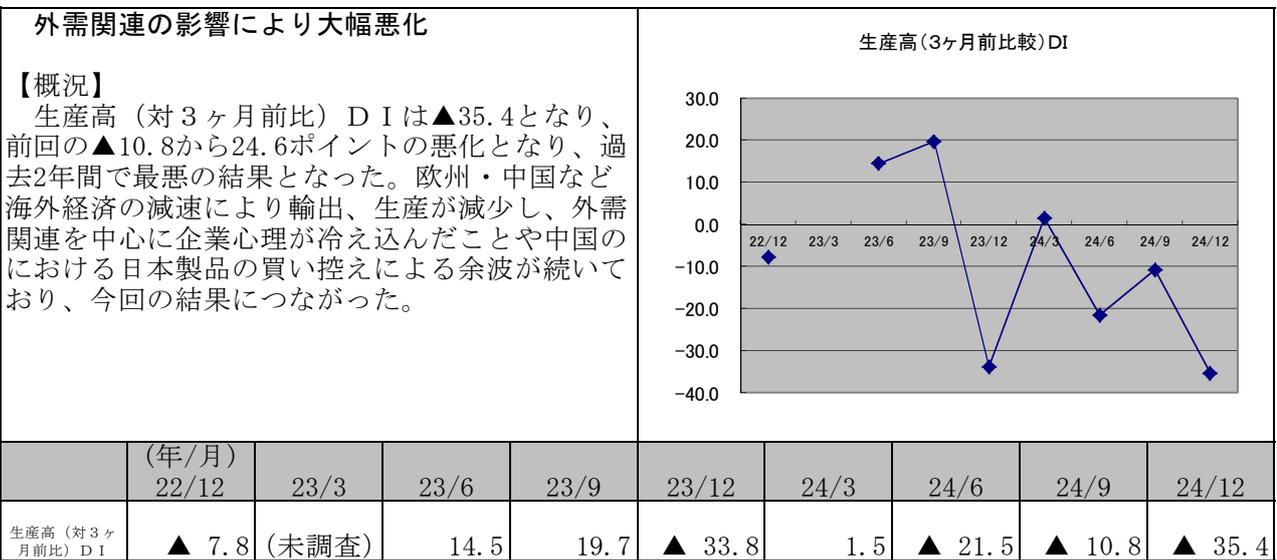
- 調査時点 平成24年12月調査（平成24年12月末時点）
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎（3、6、9、12月末時点）
- 回答企業 65社（回答率：43.3%）

<業種内訳>

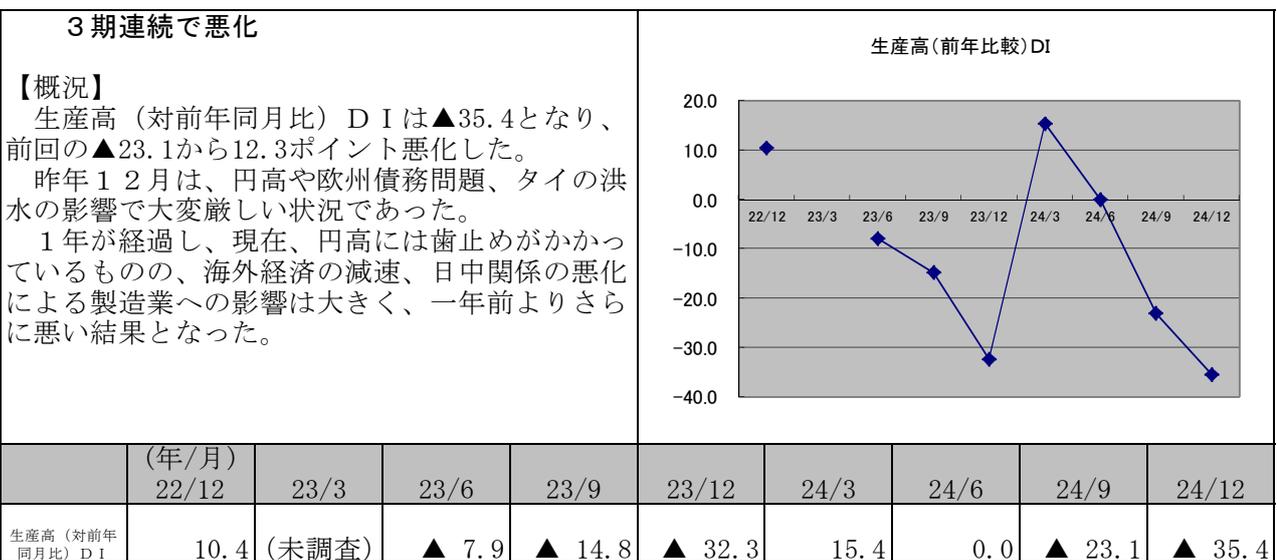
プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	6社
金属製品	7社
一般機械器具	14社
電気機器	11社
輸送用機器	10社
精密機器	4社
縫製	4社
計	65社

DI (Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

生産高（対3ヶ月前比）DI



生産高（対前年同月比）DI



3ヶ月先見通しDI

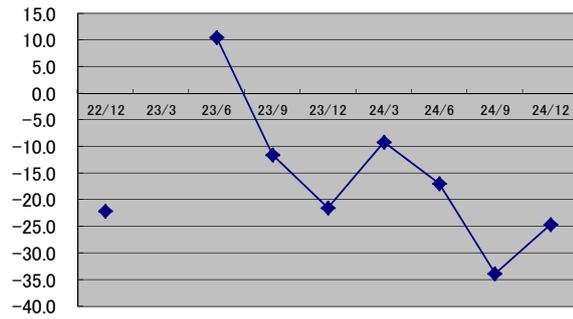
依然として先行きは不透明

【概況】

3ヶ月先見通しDIは▲24.6となり、前回の▲33.8から9.2ポイントの改善となった。

政権交代による景気回復の期待からDI値は改善したものの、依然としてマイナス水準である。先行きの不透明感はいましばらく続くだろう。

3ヶ月先見通しDI



	(年/月)	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12
3ヶ月先見通しDI		▲ 22.1	(未調査)	10.5	▲ 11.5	▲ 21.5	▲ 9.2	▲ 16.9	▲ 33.8	▲ 24.6

外注見通しDI

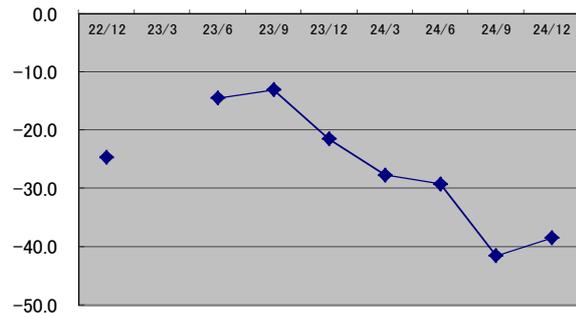
低調に推移

【概況】

外注見通しDIは▲38.5となり、前回の▲41.5から3.0ポイントの改善となった。

前回から若干の改善を見せたものの、DI値は低水準で推移しており、増加と回答した企業はわずか7.7%であった。国内の外注取引環境はこの先も厳しい状況が続くものと予想される。

外注見通しDI



	(年/月)	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12
外注見通しDI		▲ 24.7	(未調査)	▲ 14.5	▲ 13.1	▲ 21.5	▲ 27.7	▲ 29.2	▲ 41.5	▲ 38.5